

全国の情報は国立感染症研究所感染症情報センターホームページにてご覧ください。 <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

定点把握感染症 (指定された医療機関から報告を求める感染症です)

インフルエンザ

定点あたり患者数は今週 **37.85 人** (先週 42.46 人) と減少しましたが、依然として流行の最盛期にあります。地域的には中播磨 (65.00 人)、朝来 (51.00 人)、伊丹 (50.67 人)、姫路市 (50.16 人) 等 15 保健所管内が警報基準である定点あたり患者数 30 人以上、これ以外の 2 保健所管内が注意報基準である定点あたり患者数 10 人以上となっています。

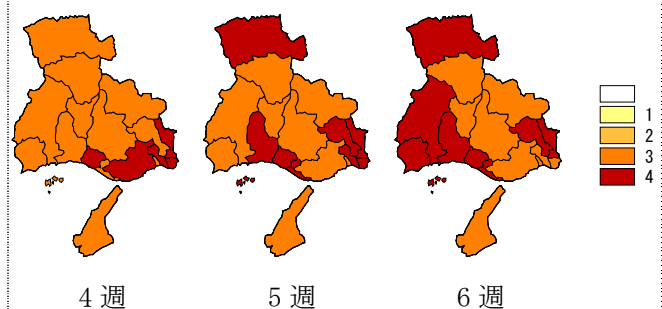
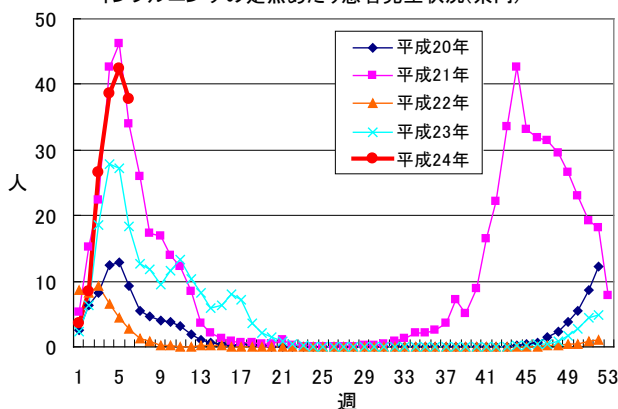
今週報告されたインフルエンザ患者 7,532 人の年齢分布は 0～4 歳 22.5%、5～9 歳 38.1%、10～14 歳 19.5%、15～19 歳 2.7%、20～29 歳 2.7%、30～39 歳 5.1%、40 歳以上 9.3%で、先週と大きな変化はありません。

インフルエンザによる学校 (保育所・幼稚園を含む) の臨時休業情報 (第 6 週) は、休校が 9 施設 (先週 10 施設)、学年閉鎖が 76 施設 (同 68 施設)、学級閉鎖が 330 施設 (同 374 施設) となっています。

当研究所では今シーズン、県内の患者 105 名の検体から 99 件のインフルエンザウイルスを検出しています。その内訳は AH3 亜型 (A 香港型) 89 件 (90%)、B 型ビクトリア系統株 8 件 (8%)、B 型山形系統株 2 件 (2%) です。AH3 亜型 (A 香港型) が主流の流行ですが、県内の小学校における集団感染事例の患者から B 型ビクトリア系統株が分離されるなど、B 型の検出が増える傾向にあります。 <http://idsc.nih.go.jp/iasr/rapid/pr3852.html> (国立感染症研究所:病原微生物検出情報参照)

インフルエンザの予防として、手洗い、うがい、咳エチケットの励行、マスクの着用など、インフルエンザに罹らない、広げない対策が重要です。また、感染が疑われる場合は早めの受診が重要です。

インフルエンザの定点あたり患者発生状況(県内)

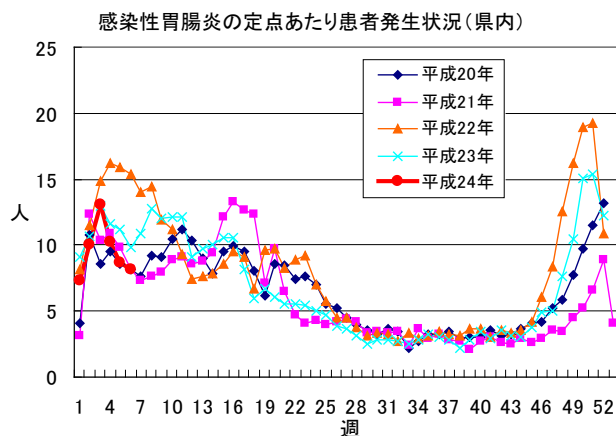


(例年の地域別患者数を基準に流行状況を色分けしています。)

感染性胃腸炎

定点あたり患者数は今週 **8.20 人**（先週は 8.72 人）と減少しました。地域的には朝来保健所管内（21.50 人）が警報基準である定点あたり患者数 20 人以上となっています。

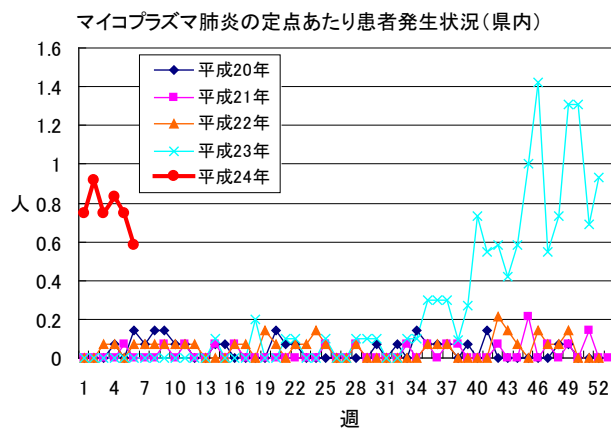
この時期の感染性胃腸炎はノロウイルスによるものが多いと言われています。ノロウイルスは患者の大便や吐物中に大量に含まれており、感染力が非常に強いウイルスです。感染を拡大させないためには、手洗いの励行を基本に、吐物などの後始末を素手で行わない、二枚貝類は十分に加熱して食べるなどの注意が重要です。



マイコプラズマ肺炎

定点あたり患者数は今週 **0.58 人**（先週は 0.75 人）と減少しましたが、依然例年に比べて患者数の多い状態が続いています。全国的にも患者数が多く、注意が必要です。

マイコプラズマ肺炎は肺炎マイコプラズマを病原体とする呼吸器感染症で、感染患者からの飛沫感染や接触感染により伝播するといわれています。特異的な予防方法はありますが、流行期には手洗い、うがいなどの一般的な予防方法の励行と、患者との濃厚接触をさけることが重要です。



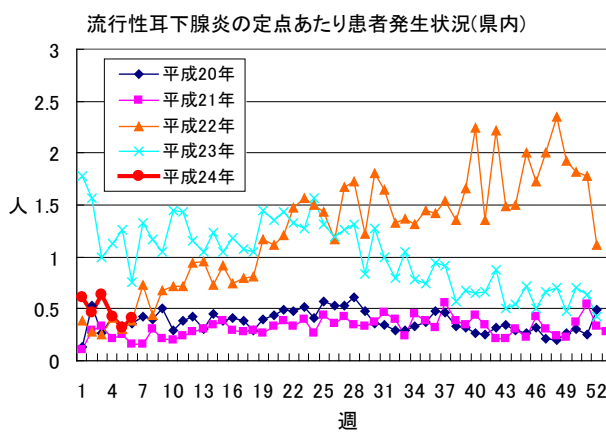
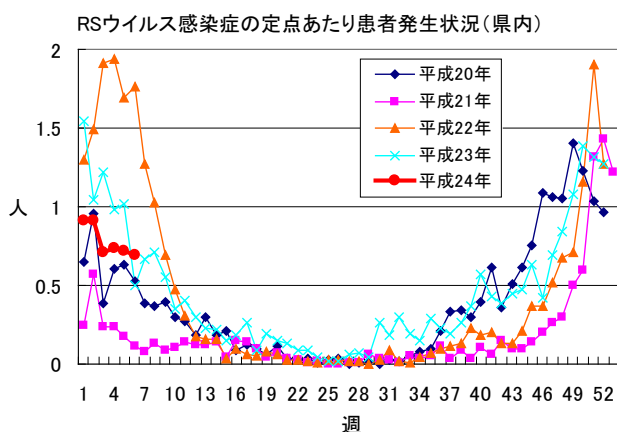
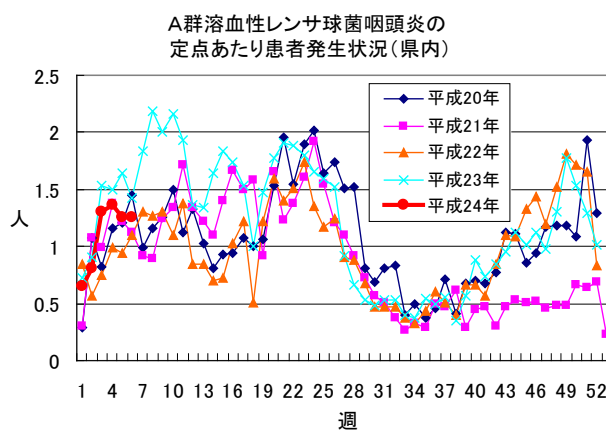
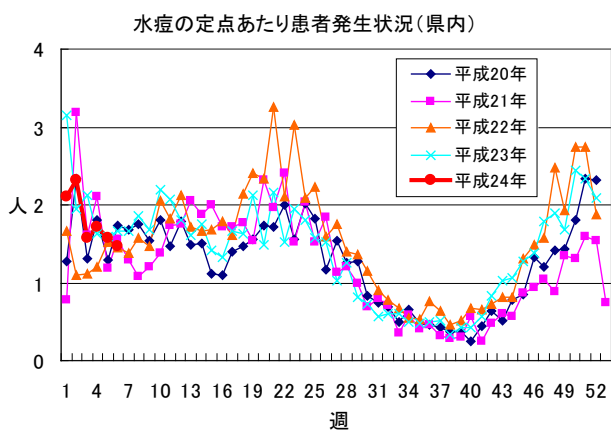
定点あたり患者数の上位 10 位の疾病

	疾病名	定点あたり患者数		増減		疾病名	定点あたり患者数		増減
		今週	先週				今週	先週	
1 位	インフルエンザ	37.85	42.46	-4.61	6 位	マイコプラズマ肺炎	0.58	0.75	-0.17
2 位	感染性胃腸炎	8.20	8.72	-0.52	7 位	流行性耳下腺炎	0.41	0.32	+0.09
3 位	水痘	1.47	1.57	-0.10	8 位	突発性発しん	0.40	0.47	-0.07
4 位	A 群溶血性レン球菌咽頭炎	1.26	1.26	±0.00	9 位	流行性角結膜炎	0.31	0.37	-0.06
5 位	RS ウイルス感染症	0.69	0.72	-0.03	10 位	咽頭結膜熱	0.18	0.23	-0.05

全数把握感染症（すべての医療機関から報告を求める感染症です）

1類感染症	報告はありません。
2類感染症	結核 25名 （神戸市 14名、尼崎市 3名、姫路市 3名、西宮市 1名、伊丹保健所管内 1名、加東保健所管内 1名、豊岡保健所管内 1名、洲本保健所管内 1名）
3類感染症	報告はありません。
4類感染症	レジオネラ症 1名 （姫路市；肺炎型 男性60歳代 感染地域；兵庫県、感染経路；不明）
5類感染症	後天性免疫不全症候群 1名 （無症候性キャリア）（感染地域；国外）（感染経路；同性間性的接触）
追加報告	結核 2名 （姫路市 1名、伊丹保健所管内 1名）

目で見える動向（県内）



この週報は兵庫県立健康生活科学研究所：健康科学研究センターホームページ <http://www.hyogo-iphes.jp/> にも掲載しています。
 また、<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html> から国立感染症研究所感染症情報センターの週報（IDWR）がダウンロードできます。